



会員企業、地元企業の経営者ら約120人が出席

ビジネス交流セミナー
経営者ら120人参加

埼玉産業人
クラブ・西部支部

埼玉産業人クラブ・西部支部(細沼哲夫支部長)は7月25日、埼玉県川越市の川越プリンスホテルで「埼玉西部地区ビジネス交流セミナー」を開いた。川越商工会議所、日刊工業新聞社との共催。会員企業、地元企業の経営者ら約120人が出席した。

第1部の講演会では、寄居町商工会会長を務めるシバサキ製作所の柴崎猛社長が「ホンダの寄居進出と我が社の経営革新」をテーマに講演。ホンダの寄居進出による地域活性化に大きな期待を寄せながらも「従業員採用に関してはいまひとついい競争が出現」と分析。「いきいきと働ける職場づくりを目指す」ために自社で行っているさまざまな取り組みを紹介した。

第2部のパネルディスカッションでは、三芳合金工業の萩野源次郎常務、日ノ出樹脂工業の住田嘉久社長、大楨精機の大町亮介社長の3人がパ

ネリストとして登壇。国内外に自社製品をアピールした際の成功体験や、人材育成に関する考え方などを述べた。

□パネルディスカッション

テーマ「国内低成長時代に挑む若手経営者」

(株)大楨精機(朝霞市) 社長 大町亮介氏



【会社プロフィール】

自動車部品の切削加工が主体。独ギルデマイスター製同時5軸MCを5台保有するなど、ここ数年で最新鋭の加工機械を導入、様々な難加工に挑む。中でもアルミの塊から削りだしたオフロードレース仕様ヘルメットや、厚さ0.3mmの集合管形状品は、大きな反響を呼んだ。「難加工の駆け込み寺」を目指す。

三芳合金工業(株)(三芳町) 常務取締役 萩野源次郎氏



【会社プロフィール】

戦前からの流れを汲む銅合金のスペシャリスト。航空機のランディングギア用摺動部品メーカーとしても名高い。2019年に運転予定の国際核融合実験炉(仏)の部品としての採用が決定するなど、その活躍のフィールドは国内を越え、世界に広がる。

日ノ出樹脂工業(株)(川越市) 社長 住田嘉久氏



【会社プロフィール】

合成樹脂原料着色加工・合成樹脂原料販売。石目調樹脂や抗菌樹脂など独自製品で知られる。07年には関東経済産業局から新連携の認定を受けるなど、新規事業創出に積極的に挑む。04年には香港支店を開設するなど、海外市場をにらんだ取り組みが現在進行中。

○パネリスト○